

みんなで取り組むごみ減量 Diet!

① Reduce (リデュース) ごみを発生させない

●ごみになる物を
買わない、もらわない



●必要以上に物を買わない



●物を大切に使う、
長く使える物を選ぶ



●食事を作りすぎない、
残さない



② Reuse (リユース) 捨てずに繰り返して使う

●繰り返し使う



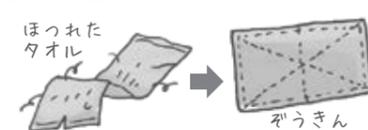
●捨てれば「ごみ」
売れば「お金」



(リペア)
●修理して使う



(リメイク)
●作り直して使う



●“おさがり”を活用



③ Recycle (リサイクル) 再び資源として活用する

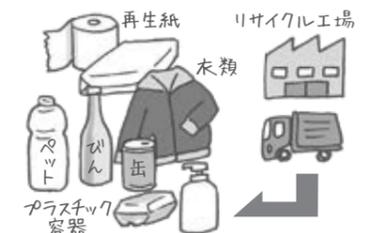
●まぜれば「ごみ」、
分ければ「資源」



●資源物ステーションでは種
類ごとに分けて出しましょう



●集めた資源物はリサイクル
工場で再生され、また商品
として生まれ変わります



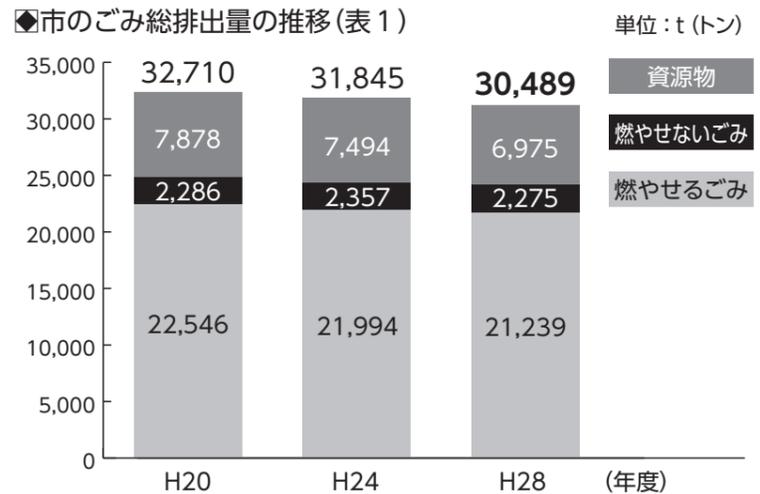
●再生品を買ってリサイクル
の輪をつなごう



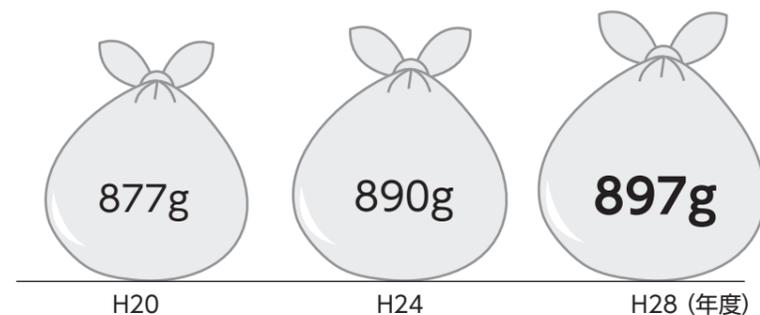
ごみの量、どうなってる？

人口減少に伴ってごみの総排出量は年々減少しています(表1参照)。しかし市民1人当たりでは増減を繰り返しており、減っていない状況にあります(表2)。

◆市のごみ総排出量の推移(表1)



◆市民1人1日当たりのごみ排出量の推移(表2)



1人1日
たまご1個分(約70g)の
ごみ排出削減に
ご協力ください!

市では、たまご1個分のごみ減量への取り組みをお願いしています。1日70gでも日々積み重ねると年間25kgの削減につながり、市全体では約2,100tの減量につながります。

「ごみ」ってなんでしょ。「ごみ」とは、一般的に「要らなくなって捨てられたもの」であり、私たちが生活を送っていると、ごみは必ず出てきます。自分にとって要らなくなったものでも、他人には必要とされたり、捨て方によってごみが資源物になるなど、ごみ減量化は一人一人の心がけで変わってきます。今号では、ごみの減量化について考えます。

ごみダイエット Diet!

まだまだ続く



TOKYO 2020 都市鉱山からつくる！ みんなのメダルプロジェクト

市はリサイクルを通じて東京オリンピック・パラリンピック2020大会に参画できるプロジェクトに参加しました。これは、使わなくなった携帯電話などの小型家電を全国から回収して、そこから金・銀・銅を抽出。それらを使ってオリンピック・パラリンピックのメダル約5,000個が製作されるプロジェクトです。

本庁や各支所、公民館などに設置している小型家電回収ボックスで回収した携帯電話とスマートフォンを対象としますので、皆さんのご協力をお願いします。

プロジェクト終了後も小型家電は引き続き回収ボックスで回収します。拠点回収場所や時間は「家庭ごみ・資源物出し方カレンダー」をご確認ください。



紙ごみのリサイクルに関する 講演会を開催します！

入場無料

家庭や事業所から排出されるごみの中には、分別されていない資源物がまだまだ多くあります。燃やせるごみの大部分を占める紙類のリサイクル(資源化)が進めばごみの減量にもつながります。

そこで古紙再生のスペシャリストを招いて講演会を開催します。ご来場お待ちしております。

- 演 題：紙はどこへ、紙 here
～古紙リサイクルのために～
 - と き：10月17日④
14:00～15:30 (13:30開場)
 - ところ：天草市民センターホール
 - 講 師：塩瀬宣行氏
(大和紙料株式会社 代表取締役社長)
- ☎ 天草広域連合 環境衛生課 ☎⑦0888
本庁・環境施設課 ☎③7861



【問い合わせ先】本庁・環境施設課(旧農政局事務所) ☎③7861

レジ袋削減に向けて…



スーパーやコンビニなどで当たり前のようにもらっているレジ袋。地球温暖化白書によると、日本国内では年間300億枚、1人当たり年間約300枚使っているそうです。もらったレジ袋、みなさんはどうしていますか。持ち帰ってすぐにごみとして捨てていませんか。レジ袋は身近なものだからこそ、子どもから大人まで一人一人が削減に取り組みことでごみの減量につながります。

「レジ袋は要らんですよ」の宣言運動に参加しませんか？
お友達やご家族といったチームでレジ袋削減に参加して、楽しく環境への意識を高めていきましょう。
取り組みは、
①「レジ袋はいらんですよ!!」行動宣言書に署名し、
②あとは実践あるのみ!

レジ袋削減運動参加店を募集!

市レジ袋削減推進協議会では、レジ袋削減推進にご協力いただける参加店を募集しています。
※いずれも申請書は市ホームページに掲載。

☎ ③7861
☎ ⑦7861
☎ ⑦6767

事業者の取り組み

ごみは家庭から出される家庭ごみと事業活動に伴い排出される事業系ごみに区分されます。ここでは事業者のリサイクルの取り組みを紹介します。

イオン天草店では、リサイクルできるものはあらかじめ決められた場所へ集積したり、店内で発生した生ごみを処理機で堆肥化したりとリサイクルに取り組んでいます。
また店頭では、お客様向けに紙パックや食品トレイ、アルミ缶、ペットボトル・古紙の回収BOXを設置し、商品の原料の一部に使用し再商品化するなど、循環型社会の構築に向けた取り組みも積極的に

行っています。
これらの取り組みを広めるために、社外向けの見学会も実施しており、資源物分別の状況や生ごみの堆肥化施設などを見ることができま。興味のある団体や資源物の分別に苦慮されている事業者の皆さん、この見学会に参加してみませんか(事前に予約が必要)。
☎ ⑦6767

事業系ごみは産業廃棄物と一般廃棄物に区分されます。事業活動に伴い排出されるペットボトルやプラマーク容器包装類、空き缶類、ビン類は、産業廃棄物に区分されますが、汚れを落とし分別すると、資源物として市の処理施設に持ち込むことができます(資源物の搬入料金は無料)。



▲生ごみを堆肥化する機械